

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	塚山公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会・県立塚山公園保存会グループ
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（横須賀土木事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 ></p> <p>塚山公園では、里山の魅力と歴史を活かした取組みが見られ、提案どおりの管理運営状況にある。維持管理に関しては、山野草の開花時期を考慮したきめ細やかな除草を実施することで、山野草や花木の保全に努めている。利用促進に関しては、利用者の少ない夏季のイベント実施や、リーフレットの最寄り駅への配架協力依頼、季節の花の情報の園内掲示等、来園者を増やす取り組みを行っている。地域連携の取組みに関しては、地域の婦人会による花壇管理の継続的な実施や、地元商工会議所とのイベントの実施等、地域と連携した公園づくりに取り組んでいる。</p> <p>< 2 収支状況 ></p> <p>木製階段やベンチの直営での補修による修繕費の削減等により、収支差額が12.7%のプラスであった。</p> <p>< 3 利用状況 ></p> <p>朝夕の散歩利用客の増加や塚山公園が横須賀周辺を巡る団体客の立ち寄り場所として定着したことにより、利用者数が目標対比増減率で123.7%となったものの、桜の開花時期が早まったことにより4月の花見客が昨年度より大幅に減少し、前年同期対比増減率は71.3%であった。</p> <p>< 4 利用者の満足度 ></p> <p>利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が100%と高い評価を得た。</p> <p>< 5 苦情・要望等 ></p> <p>園路を走行しているバイクの規制をして欲しいとの声に対し進入禁止のお知らせを掲示し、適切に対応した。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 ></p> <p>なし</p> <p>< 今後の方針等 ></p> <p>今後は、山野草や花木を保全する維持管理や里山の魅力を活かしたイベントの実施、ボランティアと連携した公園管理等を継続するとともに、広域からの利用者の拡大のため、公園情報の発信等さらなる広報活動に努めて欲しい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価

B

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	<p>公園における特性と課題を踏まえた維持管理</p> <p>(1) サクラの名所としての継承や四季を楽しむ植栽樹林の充実、山野草や花木の保全と活用を図り、新たな魅力づくりを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山野草の保護・増殖のため、生育サイクルに応じた草刈時期・回数・刈高の設定や選択的除草を行う。 <p>(2) 安全で快適な利用を支える確実な施設管理運営を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検パトロールの実施、異常個所の早期発見・応急処置、園路・広場・側溝・集水柵の清掃を行う。 	<p>(1) 山野草や花木を保全する取り組みとして、山野草(ツルボ・ヒガンバナ・ニリンソウ等)の開花時期を考慮の上、植木用のバリカンを用いたきめ細やかな除草を実施した。</p> <p>(2) 園路の路面に付着したコケの除去や園路脇のオーバーハングしている法面の整形処理、枯損木の除去を実施し、利用者の安全の確保に取り組んだ。</p>

提案内容		実施状況等
2 (指定管理業務)	<p>利用促進について</p> <p>(1)利用促進のためのイベントの開催 三浦按針の由来と史跡、東京湾を望む眺望、桜まつりをはじめとした四季の彩りの美しさを活用した魅力的なイベントの企画・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塚山公園さくら祭 ・自然観察会 ・花火観賞会 <p>(2)利用促進のための広報について 知らない人には公園の紹介等概要を、また再訪のきっかけとなる季節毎の見頃見所などを広報する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット ・園内掲示 	<p>(1)4月に塚山公園さくら祭りを開催し、夜間の安全パトロールや清掃・ゴミの管理等を行った。6月には自然観察会を開催し、園内の植物や三浦按針の由来を参加者に説明する等公園の魅力をアピールした。また、8月には花火観賞会、9月には鳴く虫観察会（コウロギ相撲）を実施し、利用者の少ない夏季の利用促進を図った。</p> <p>(2)最寄駅である京急安針塚駅に公園のリーフレットの配架協力を依頼し、来園者の増加を図る取組みを行った。また、季節の花の情報を園内の情報板への掲示し、来園者に再訪を促す広報活動に取組んだ。</p>
3 (指定管理業務)	<p>地域や関係機関との連携</p> <p>(1)県民および住民参加、ボランティア団体による協働の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会、連合町内会、観光協会、行政機関等の地域関係団体との関係を緊密・拡大する 	<p>(1)地域の婦人会と協働での花壇管理および地元町内会との港の見える丘周辺の除草、地元商工会議所とのサクラ祭りスケッチ大会の実施等、地域と連携した公園づくりへの取組みを行った。</p>

(2)月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	6月7日	○	○	○	無	
5月	6月10日	7月5日	○	○	○	無	
6月	7月10日	8月2日	○	○	○	無	
7月	8月9日	9月6日	○	○	○	無	
8月	9月10日	10月7日	○	○	○	無	
9月	10月10日	11月5日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の 10 日まで

2 収支状況

評価 A

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		14,259	0	0	14,259	14,259	0	0
年度計画	前年度	13,900	0	0	13,900	13,900	0	0
	上半期	7,136	0	0	7,136	7,136	0	0
	下半期	6,764	0	0	6,764	6,764	0	0
	今年度	13,900	0	0	13,900	13,900	0	0
	上半期	7,139	0	0	7,139	7,139	0	0
	下半期	6,761	0	0	6,761	6,761	0	0
上半期実績	4月	1,203	0	0	1,203	1,219	0	▲ 16
	5月	1,135	0	0	1,135	857	0	277
	6月	1,388	0	0	1,388	1,099	0	288
	7月	1,086	0	0	1,086	936	0	149
	8月	1,188	0	0	1,188	1,028	0	159
	9月	1,139	0	0	1,139	1,092	0	46
	上半期合計	7,139	0	0	7,139	6,234	0	904
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② ▲ 12.7%		③ 12.7%
参考	前年度 上半期実績合計	7,136	0	0	7,136	6,339		796
	対前年度 上半期実績比				0.0%	-1.7%		

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、参加者負担金、預金利息、雑収入等から該当するものを記載

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	<ul style="list-style-type: none"> ・木製階段やベンチの補修を直営で実施し修繕費を削減した。 ・高木伐採の外注費が当初想定よりも減少した。
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **A**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	6,236 人	14,830 人	42.1 %
5月	3,742 人	4,120 人	90.8 %
6月	2,506 人	2,197 人	114.1 %
7月	2,490 人	2,190 人	113.7 %
8月	2,285 人	2,213 人	103.3 %
9月	2,527 人	2,235 人	113.1 %
合計	19,786 人	27,785 人	71.2 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	19,786 人	27,785 人	16,000 人	① 123.7 %	② 71.3 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	19,786 人	27,785 人	16,000 人	23.7 %	▲ 28.8 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	半期ごと	その他の場合の基準
	過去数年間平均	

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	朝夕の散歩利用客の増加や、塚山公園が横須賀周辺を巡る団体客の立ち寄り場所として定着したことが要因と考えられる。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	今年は桜の開花時期が早まったことにより4月の花見客が大幅に減少した。

<参考>

施設の最大利用可能人数

								合計
定員(1日あたりの延べ人数)								0
年間利用可能日数								
最大人数	0	0	0	0	0	0	0	0
半期	0	0	0	0	0	0	0	0

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **A**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	27	6	0	0	0	33	33 (100.0%)

※今年度の実施予定

※配布・回収件数

※実施方法

上半期 6回 配布 33件
 下半期 4回 回収 33件
 その他 回収率 100.0%
 利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	11	11
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他	園路をバイクで走行している人がいるので規制して欲しい	園路への進入を禁止するお知らせを掲示した。

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した(事故等が発生していない場合も含む)。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		